

麻布 大学



- 獣医学科
- 動物応用科学科
- 臨床検査技術学科
- 食品生命科学科
- 環境科学科

求人のためのご案内

採用ご担当者の皆様へ



2024年4月開設の獣医保健看護学科の詳細は
QRコードからご確認ください。



獣医学科 Department of Veterinary Medicine

獣

医学の基盤となる動物の解剖学・生理学から、感染症およびその予防につながる衛生学や公衆衛生学、さらに内科・外科学に至るまで、動物・ヒトの健康や疾病について幅広く学びます。また、動物の診療とともに、畜産分野における生産性向上や食品の安全性確保、さらには製薬企業などの生命科学分野における研究において、獣医師が果たす役割が大きくなっています。これらのニーズに対応できる人材を育成するために、獣医学科では教育・研究の両面で学生をサポートしています。本学獣医学科の特徴として、初年次や5年次以降の産業動物に関する臨床教育など、実践に即した教育が挙げられます。また学生は3年次から研究室に属して経験を積むことで、自ら課題を見出して解決する能力を身に付けられるようにしています。このような獣医学を通じて習得した基礎的ならびに臨床的な知識を生かして、製薬会社や食品会社などの企業、研究所で活躍できる卒業生を幅広く輩出しています。

小動物臨床実習

▶映像技術で動物の負担を軽減◀

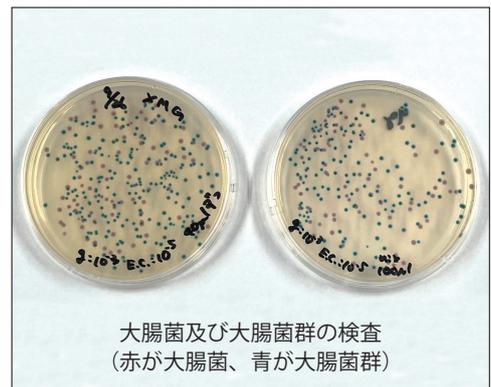
吸入麻酔を実施する際に重要な手技である気管内挿管は限られた実習時間で何度も体験させることは困難です。また、全身麻酔は動物にとっては大きな負担となります。本学では動物の負担となる手技についてVRゴーグルを用いて360度カメラで撮影した映像を視聴・疑似体験することを併用しながらより深い学びを実践しています。



獣医公衆衛生学実習Ⅱ

▶測定・検査で人と環境の健康維持!◀

大気や水を対象とした環境測定と、乳製品などを対象にした微生物学的ならびに理化学的検査について学びます。それぞれの検査や測定方法の原理を理解した上で基礎的な手技を身につけることを到達目標としています。測定結果を基に定量評価ができるように、実験中に問いかけたり、レポートにフィードバックしています。



大腸菌及び大腸菌群の検査
(赤が大腸菌、青が大腸菌群)

卒業後の進路とその傾向 (過去5年分)



動物応用科学科 Department of Animal Science and Biotechnology

本 学科では、学生が社会で活躍するために必要な資質である科学的情報処理や理解能力のサイエンスリテラシーと、仕事に必要なスキルやチームワーク能力のコンピテンシーを教育の軸に据え、動物科学を網羅的に修学した『動物共生科学実践的ジェネラリスト』を輩出しています。その目的を達成するため、動物系大学では日本初となるSTEM型教育プログラムを取り入れています。初年次から「動物応用科学実習」や「サイエンスリテラシーI,II」などのグループワークやアクティブラーニングを充実させています。また「卒業研究ベーシック、スタンダード」においては、課題発見・解決・代替法の思案・データ分析にかかわる能力の育成にも力を入れています。このジェネラリスト育成教育を通じて、卒業生は、製薬業界や食品業界、教員（中学・高校の理科）、家畜人工授精師、食品衛生監視員（公務員）・管理者、実験動物技術者、ヒト生殖補助医療胚培養士、動物検疫官（国家公務員）として、動物および生命科学に関わる幅広い分野で活躍しています。

動物応用科学実習

▶麻溝公園ふれあい動物園での動物実習◀

本実習は一般に公開されている「ふれあい動物園」において実施します。様々な展示動物のお世話や来場者とのかわわりを通して、動物の生態を考慮しつつ、動物とそれを扱うヒトの安全性、来場者への効果、経済性など多くの課題があることを理解し、技術的な経験を得ながら、課題を解決する視座を習得します。



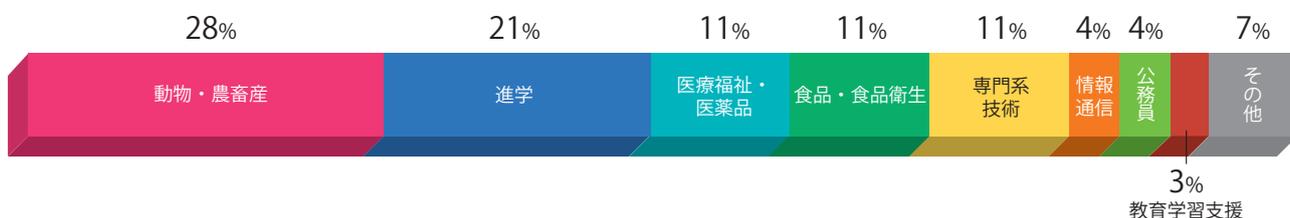
動物性食品加工学実習

▶動物性食品を用いた食品加工について実践的に学ぶ◀

動物性食品は食生活に欠かせないものです。本実習では特に豚肉と牛乳を用いた食品加工や製品作りを通して、食品加工および食品製造を実践します。また、製品について科学的な品質評価や「おいしさ」評価にも取り組みます。本学科で唯一食品を扱う実習です。



卒業後の進路とその傾向（過去5年分）



臨床検査技術学科 Department of Medical Technology

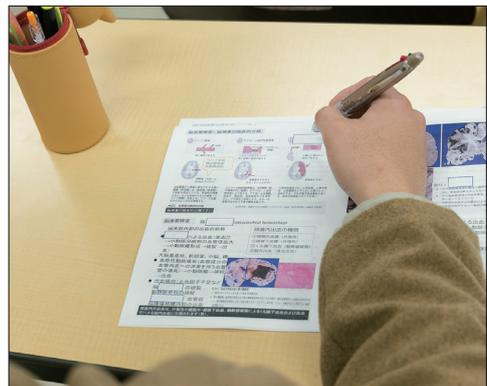
現

代医療の高度化・細分化に伴い、臨床検査技師に求められる役割は、単なる検査業務を大きく超えています。医療機関において即戦力となる高度な臨床業務から、疾病予防や健康増進、さらには創薬・治験といった先端研究開発領域まで、その高度な専門性は社会の広範な領域から希求されています。こうした時代の要請に応え、本学科では「精緻な科学的知見」と「揺るぎない倫理観」を教育の基盤としています。最先端の生命科学の知識・技術の修得を徹底し、チーム医療の中核を担い得る高度な専門技術と、患者さんや他の医療従事者から深く信頼される豊かな人間性を育みます。さらに、研究室での探究活動を通じて知的好奇心と課題解決能力を養い、生涯にわたり自己研鑽を続ける「自己成長力」を培います。理論と実践を高度に融合させた本学科の教育は、多様な医療関連分野で即戦力として活躍できる、バランス感覚に優れた技術者の養成を目指しております。

病理学Ⅱ

▶病気の診断に必要な病変の特徴を解説◀

病気の診断に必要な病変の特徴を、図・写真を用いてわかりやすく解説します。病気の原因（病原体や栄養素の過不足など）、病気が起こるしくみ（高コレステロール血症により動脈硬化症・心筋梗塞が起こる道筋）や病気の診断方法を習得します（課題解決力）。国家試験出題例も交えて、国家試験合格とともに臨床検査技師への道を支援します。



臨床生理学実習

▶患者さんの気持ちがわかる検査技師になる!◀

患者さんと対面して行う生理検査では、患者さん一人ひとりの病態を的確に把握しながら、安全かつ丁寧な検査を行うことが求められます。心電図、脳波、超音波検査などの実習を通じて、検査手法や機器の操作方法を学ぶだけでなく、被検者としての体験も取り入れることで、患者さんの立場や気持ちに寄り添えるような実習を心掛けています。



卒業後の進路とその傾向（過去5年分）



食品生命科学科 Department of Food and Life Science

食 品生命科学科では、社会において即戦力となる食のエキスパート人材育成を目指しています。食を、「情報」・「機能」・「安全」の視点から多面的に学ぶ特徴的なカリキュラムを通じ、学生は基礎から応用まで幅広く深く学びます。卒業生は食品製造・開発・販売・検査、製薬・医療、行政など多様な分野で活躍しています。「情報」ではデータ駆動型思考の醸成を目指して、分析力と結果に基づく問題解決力を、「機能」では食品学、栄養学の幅広い学びから科学的論理的思考力を養います。「安全」では、HACCPを含む食品安全研修を通じて学生のうちから実用的な食品衛生管理技術を学びます。さらにより社会のニーズに応えられる人材育成のため、実践的な科目を開講し進化を続けています。文部科学省の「知識集約型社会を支える人材育成事業 出る杭を引き出す教育プログラム」において、1年生から研究参加プログラムを修了した学生も多く、卒業論文までの研究を通じた学びによって、コンピテンシーが醸成されています。

食品開発PBL・同実習

▶食品を開発するスキルを学ぶ◀

食品開発 PBL・同実習ではオリジナル中華まん、ハーブティーの企画、製造・販売までの食品開発プロセスを学びます。食品開発の意義、ニーズの把握、コンセプト作り、試作、製造、コスト管理や販売促進など食品開発に必要な知識を身につけます。この授業は、食品開発の第一線で活躍している開発担当者との産学連携授業として展開をしています。



HACCP管理論

▶食品安全のエキスパートになる◀

HACCP 管理論では、食品企業で行われる HACCP システムの構築を実践しながらのグループワークにより体験します。低学年から様々な授業を通して学ぶ食品衛生の知識をフル活用し、世界標準の食品衛生管理手法である HACCP を深く学びます。この授業は外部機関から食品安全研修として認定されており、受講後は修了証が授与されます。



卒業後の進路とその傾向（過去5年分）



環

環境科学科は、我々の身の回りで起こりうる将来の環境課題に対応・適応するために、「環境衛生の視点」と「自然環境や生活環境を分析・評価する技術」を養う教育・人材育成を行っています。2019年度からは、フィールドワークや企業と連携したPBL、データサイエンスを強化し、学生自らの実践力・行動力を高める教育にも取り組んでいます。本学科を卒業した学生は、環境分析や環境衛生に関する知識や技術をベースとして、理化学的・生物学的な分析・評価業務、自然・生活・産業の各場面における環境の維持管理・改善業務などで活躍できます。さらに、フィールドワークやデータ分析で培ったスキルを生かして、環境調査・アセスメント業務にも対応できる能力を身に付けています。また、2年間にわたる卒業研究を通じて身に付けたコミュニケーションスキルや問題解決能力を生かし、広範な分野の企業、行政機関や環境教育分野など様々な主体と協働しながら活躍できます。

衛生動物学・同実習

▶有害生物の管理ができる環境技術者をめざそう!◀

ヒトに感染する寄生虫や、病気を媒介するダニ、カ、ノミ、シラミ、ネズミなどの有害生物を対象とした講義・実習を行っています。これらの動物の発育過程や生態を学び、どのようにしてヒトに病原体を運ぶのか、どうすれば感染を防ぐことができるのかなどについて理解を深めていきます。実習では、実際に生きている寄生虫や衛生動物を顕微鏡で観察します。



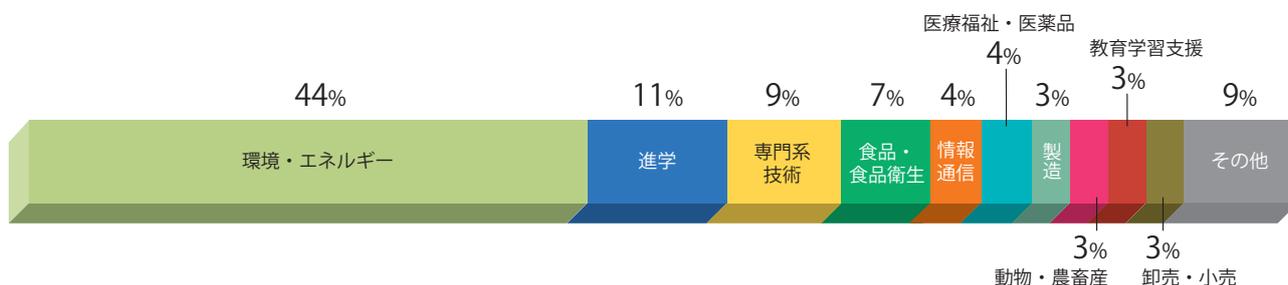
環境計量分析学実習

▶化学の視点から環境保全に貢献しよう!◀

この実習では、水・土壌環境における汚濁指標や環境汚染の原因物質を取り上げ、その種類や量を正しくはかるスキルを学びます。法律等で濃度が規制されている環境汚染物質は、ごく低濃度であっても長期間にわたる曝露により私たちの健康や生態系に影響を及ぼすものも多いため、それらの測定は将来にわたって健全な環境を創るための第一歩です。



卒業後の進路とその傾向 (過去5年分)



資格の種類	資格名 <small>国…国家資格 公…公務員 □…必要となる実務経験年数</small>	獣医学部			生命・環境科学部		
		獣医学科	獣医保健看護学科	動物応用科学科	臨床検査技術学科	食品生命科学科	環境科学科
受験資格 定められた科目または課程を履修することで受験資格を得ることができます。	獣医師 <small>国</small>	●					
	愛玩動物看護師 <small>国</small>		●				
	臨床検査技師 <small>国</small>				●		
	第1種作業環境測定士 <small>国</small> ①	●		●			● ※2
	労働衛生コンサルタント <small>国</small> ⑤	●		●	● ※1 ● ※2	●	● ※2
	普及指導員 <small>国</small> ④	●		●			
	甲種危険物取扱者 <small>国</small>	●		●	●	●	●
	実験動物1級技術者 酵素取扱者			●			●
目標とする資格 国家試験に合格すると取得できます。受験資格は特にありません。	環境計量士 <small>国</small>						●
	公害防止管理者 <small>国</small>						●
取得できる資格 定められた科目または課程を履修することで取得できます。	家畜人工授精師 <small>国</small>	● ※3		●			
	第1種衛生管理者 <small>国</small>				●		●
	社会調査士						●
在学中に取得を推奨する資格	有機溶剤作業主任者 <small>国</small>			●		●	●
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 <small>国</small>			●		●	●
	石綿作業主任者 <small>国</small>						●
課程を履修して取得できる資格	中学校教諭1種 理科	●		●	●	●	●
	高等学校教諭1種 理科	●		●	●	●	●
	高等学校教諭1種 農業	●		●			
任用資格 特定の職務に任用、任命される場合に必要となる資格です。資格を取得しただけでは公称できません。当該職務に任用、任命されてはじめて資格を名乗ることができます。公は公務員の中から任用されます。	食品衛生監視員 <small>公</small>	●	● ※4	● ※4	●	●	●
	食品衛生管理者 <small>国</small>	●	● ※4	● ※4	●	●	●
	環境衛生監視員 <small>公</small>	●		●	●	●	●
	環境衛生指導員 <small>公</small>	●		●	●	●	●
	と畜検査員 <small>公</small>	●					
	食鳥検査員 <small>公</small>	●					
	狂犬病予防員 <small>公</small>	●					
	薬事監視員 <small>公</small>	●					
	家畜防疫官・家畜防疫員 <small>公</small>	●					
	種畜検査員 <small>公</small>	●					
	飼料製造管理者 <small>国</small> <small>公</small>	●					
	家庭用品衛生監視員 <small>公</small>	●		●	●	●	●
	動物愛護担当職員 <small>公</small>	●	●	●			

※1 臨床検査技師資格取得者は、受験科目一部免除

※2 第1種衛生管理者資格取得者は、受験科目一部免除

※3 獣医師の資格を取得した場合には、同様の資格が与えられます。

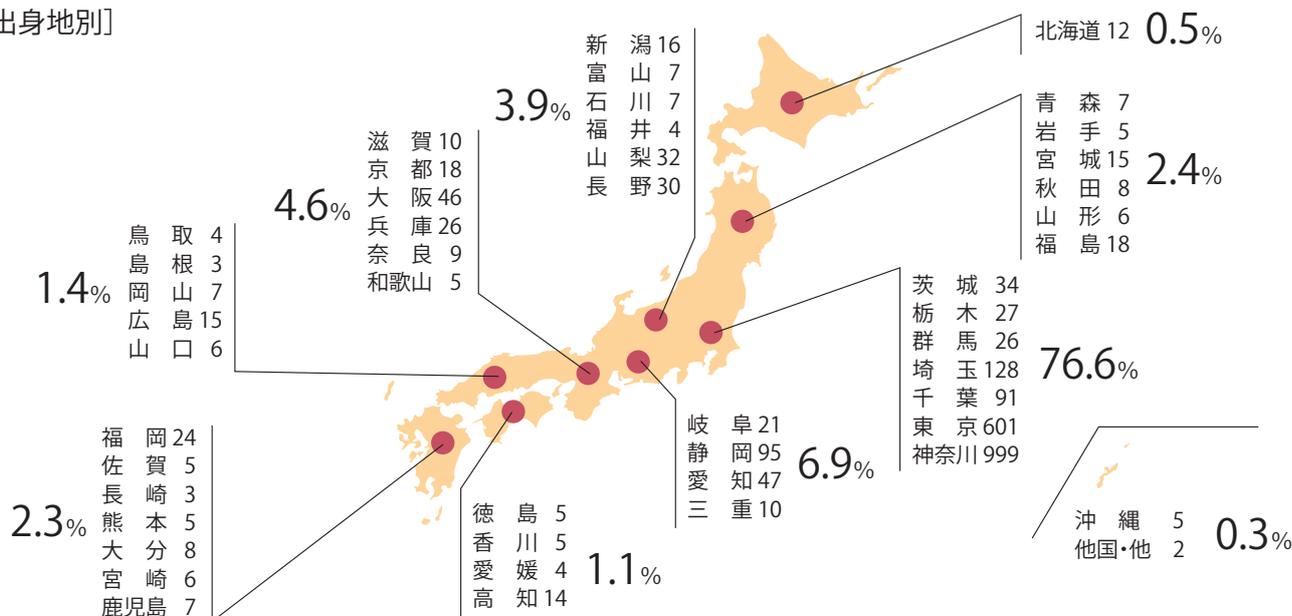
※4 食品衛生プログラム履修者のみ。

学生数

2025年5月現在

所属/学年		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
獣医学部	獣医学科	149	154	158	144	130	155	890
	獣医保健看護学科	81	75					156
	動物応用科学学科	140	141	156	131	—	—	568
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	87	99	109	96	—	—	391
	食品生命科学学科	52	48	55	41	—	—	196
	環境科学学科	81	77	67	62	—	—	287
計(学部)		590	594	545	474	130	155	2488

[出身地別]



採用で担当の皆様へ

●求人申込について

本学では「求人受付 NAVI」を導入しております。「求人受付 NAVI」<https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/> から求人情報の提供をお願いいたします。また、「求人受付 NAVI」を使用しない場合の求人情報の提供にあたっては、本学 HP より様式をダウンロードいただき、御送付いただきますようお願いいたします。なお、会社案内等ありましたら本学に御送付いただきますようお願いいたします。就職閲覧室に備え、活用させていただきます。

●採用合否について

採用合否の通知は、学校推薦、自由応募等に限らず、キャリア支援課と本人の双方に御通知くださるようお願いいたします。

●就職・採用活動について

本学では、就職問題懇談会の申合せに基づいて就職・採用活動への対応を行っております。つきましては、学生及び大学院学生の採用活動について、趣旨を御理解の上、御協力をいただきますようお願いいたします。

Access

JR 横浜線 矢部駅から
徒歩 4分



大学の最寄り駅である JR 矢部駅へは、新宿、渋谷、横浜駅などからいずれも約1時間でアクセス可能。新幹線を利用すれば新横浜駅から約30分で到着できます。



麻布大学 教務部 キャリア支援課

業務取扱時間：平日 9時～17時 30分

住所：〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71

E-mail：shushoku@azabu-u.ac.jp